



## ニュースリリース

2021年6月8日

各 位

### 当社子会社による独自ブロックチェーンのリリースに関するお知らせ

今般、当社連結子会社である BEATCHAIN SDN. BHD. (以下、「BC マレーシア」といいます。) において、ビットコインやイーサリアムをはじめとする既存のブロックチェーンネットワークによる影響を最小化することを目的とし、独自のブロックチェーンを開発いたしました。また、その最初のブロックが2021年6月6日に生成されたことを以下の通りお知らせいたします。

#### 1. 独自ブロックチェーンリリースの背景

現在、BC マレーシアでは、当社グループが保有するブロックチェーン・アプリ、Crypto Messenger Wallet (以下、「CMWT」といいます。) 並びに Inou を各社向けにカスタマイズを行っております。当該アプリの利用候補企業とは順調に協議を重ねており、前向きに検討いただく企業も増えてきておりますが、当該アプリが全てブロックチェーン上に存在するデータと完全連動する設計となっているため、ビットコインやイーサリアムのネットワークの状況においては、安定性が担保しきれないことがかねてから課題となっております。

ビットコインやイーサリアムを始めとする既存のネットワークにおいては、Proof of Work (以下、「PoW ※1」といいます。) と呼ばれるアルゴリズムにより参加者の利便性・安定性が担保されているものが一般的であります。ブロック (取引台帳) ごとに全ての取引を承認することが前提となっている設計上、取引量が急激に上下する、あるいは価格が急激に変動する場面においては、ブロックチェーンネットワークそのものが混線し、安定性に悪影響が及ぼされるのが一般的です。

そこで当社グループでは、PoW のアルゴリズムではなく、Proof of Authority (以下、「PoA ※2」といいます。) と呼ばれるアルゴリズムを採用し、一定の権威 (Authority) を有する参加者 (ノード) が承認者となり、最初に生成されたブロック (取引台帳) から全ての取引履歴が第三者から客観的に閲覧できるブロックチェーンの良さを残しつつ、当社グループが認定した特定の権威者により効率的に承認が行える独自のブロックチェーン開発を行うことを決定し、この度、2021年6月6日に、その最初のブロックが生成されることとなりました。

※1 PoW: 最初に生成されたブロックから起算し、一つ一つの全ての取引を第三者である承認者 (マイナー) が確認を行っていくことで取引台帳の信用性を担保するアルゴリズム

※2 PoA: 生成されたブロックをネットワークが認めた特定の権威者に承認させることで、取引台帳の信用性を担保しつつネットワークの負荷を軽減するとされるアルゴリズム



## 2. 独自ブロックチェーンの具体的内容

BC マレーシアでは、一定の行動履歴、貢献に基づき独自に定めた指標に従い権威を付与する PoA のアルゴリズムを採用し、独自ブロックチェーンをリリースいたしました。今後、ブロックチェーンの技術活用・社会実装が進む中、便利に使える効率さと安心・安全に使える安定性を担保する新たなブロックチェーンネットワークの始まりになることを目指し、Genesis（創生）+Chain（チェーン）という用語を組み合わせ、Genchain（仮称）として市場投入を図る見込みです。

具体的には、当社グループで展開する CMWT や Inou といった各種アプリは、現在 ERC20 と呼ばれるイーサリアムネットワークの規格上にて稼働しておりますが、一定の期間を経た後、全てのデータを Genchain 上に移管致します。現時点においては、CMWT や Inou のユーザーの行動履歴は一定程度の経験を有する技術者が稼働するプログラムの裏側にあるソースコードを確認しなければ視認出来ませんが、当社グループでは、独自ブロックチェーン専用の検索ウェブサイト（以下、「Genchain explorer」といいます。）のリリースも予定しており、当社グループが保有するアプリに関わる全てのユーザーによる行動履歴は、当該 Genchain explorer を確認することで、匿名性が担保された上で、誰もが閲覧できるようになります。

また、Genchain は既存のビットコインやイーサリアムといったネットワークから独立したブロックチェーンであるものの、ERC20※3 といった規格に代表されるスマートコントラクトを書き込む技術を実装していることから、Genchain の参加者は、（1）独自のスマートコントラクトを容易に書き込み、（2）既存ネットワークによる安定性の影響をなんら受けることなく、（3）暗号通貨価格が上下した際に課題となる Gas 代※4 の高騰による影響も一切うけなくなるため、一般ユーザー、あるいは技術者に対し、参加メリットを明瞭に提示することができるようになります。

※3 ERC20：イーサリアムのブロックチェーンで動作するトークンの統一ルール・規格のひとつ

※4 イーサリアムチェーン上で、トランザクションを行う際に必要なネットワーク手数料

更に、当社グループでは安心・安全に使える次世代の独自ブロックチェーンネットワークを提供できることをアジアを中心とした世界市場に展開することを企図しており、Genchain の採用する PoA と呼ばれるアルゴリズムを更に独自改定していく予定です。具体的には、Genchain 上の権威（Authority）になる条件として、当社グループが保有するアプリ上にて他人に役立った付加価値の総量をブロックチェーン上に蓄積し、更にそれら付加価値の総量を CMWT を通じて第三者に贈与した履歴を表すことを課す、といった手法を検討しております。こうした独自の権威付与システムを実装することにより、『第三者を始めとする他人に親切を施したユーザーが豊かになり、その善意を更に生み出す仕組みにおける権威となれる新たな循環』が実現し、当社グループの展開する Genchain の参加者（ノード）が増えていくことでネットワークとしての信頼性を高めることが期待できます。更に、Genchain 上で良い振る舞いをしたユーザーが受け取れるデジタルクーポンを独自に発行し、それらクーポンが一定の枚数になると Staking（ステーキング）と呼ばれる暗号通貨の定期貸与サービスが利用でき、それらクーポンを他人に譲渡することで自身の信頼する参加者を権威に推薦すること機能実装なども企図しております。



なお、当社グループとしては、これらデジタルクーポンを暗号通貨として活用する予定はなく、あくまで当社グループ独自のブロックチェーンネットワーク、アプリの利便性向上に資するための分散性、安定性、取引の流動性に貢献する領域において、当該クーポンを活用していく所存です。

### 3. BC マレーシア社の概要

(2021年6月8日現在)

(1)	名 称	BEATCHAIN SDN.BHD.	
(2)	所 在 地	Unit 02-02, TeegaOffice Tower, Jalan Laksamana 1, Puteri Harbour, 79000 Iskandar Puteri, Johor, Malaysia.	
(3)	代表者の役職・氏名	Director 松田元	
(4)	事 業 内 容	ブロックチェーン技術を利用したソフトウェア開発、システム運用、IT技術コンサルティング等	
(5)	資 本 金	900,000 リンギット	
(6)	設 立 年 月 日	2020年7月31日	
(7)	大株主及び持株比率	Beat Chain Pte. Limited100%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社完全子会社である Beat Chain Pte. Limited の完全子会社。
		人 的 関 係	松田元は、当社の CEO。
		取 引 関 係	本件以外、該当なし。

以 上

#### ビート・ホールディングス・リミテッドについて

当社、ビート・ホールディングス・リミテッドは、所有する知的財産権及び技術に基づいてヘルスケア・ブロックチェーン・エコシステムの構築を含むブロックチェーン技術に基づくアプリケーションの開発、及び知的財産権のライセンス事業を行っております。また子会社の GINSMS Inc. (トロント・ベンチャー証券取引所に上場、TSXV : GOK) を通じてモバイル・メッセージング・サービス並びにソフトウェア製品及びサービスを提供しています。当社は、ケイマン諸島においてケイマン会社法に従い設立・登記された会社であり、香港に事業本部を構えシンガポール、マレーシア、インドネシア、中国及びカナダに子会社を有しております。

詳細は、ウェブサイト：<https://www.beatholdings.com/> をご参照下さい。

本書は一般公衆に向けられた開示資料であり、当社株式への投資を勧誘するものではありません。投資家は、当社への投資を判断する際、当社の過去の適時開示資料及び法定開示資料を含むがこれらに限定されない資料を確認し、それらに含まれるリスク要因及びその他の情報を併せて考慮した上でかかる判断を行う必要があります。